

計画区分 5 認知症にやさしい地域づくり

NO	目指す姿	課題	取組の方向性・考え方・手段	取組			備考
				R6実績	R7	R8	
1		認知症の人は増加すると予測され、介護が必要となった主な原因は認知症が最多、認知症を怖い・なりたくないと思う人がいる	認知症についての正しい理解と、認知症を身近なものにとらえ、地域内で共に生きる意識を作るための普及・啓発	認知症フォーラムは10~80歳代の多世代が参加。寺子屋で小学生181名・大人82名が、地域活動10団体が認知症講座を受講。認知症サポーター養成講座は希望団体へ実施。講座案内と啓発は随時広報等で実施。	・認知症フォーラム ・認知症サポーター養成講座の開催（小・中学生各1回以上、大人年3回以上）	・認知症フォーラム ・認知症サポーター養成講座の開催（小・中学生各1回以上、大人年3回以上）認知症を怖くないと捉え、必要に応じて行動できる人が増えている	受け入れやすい形での普及のため、独自教材を開発（記事参照）
2	閉じこもらずに馴染みの場所で馴染みの仲間とやりたいことを続けられている（チームオレンジ）	認知症になっても地域で暮らせる環境の一つとして、地域の民間企業の理解を進め、見守りや職場での理解・共生が必要。	町内の民間事業所等約100社が参加する認知症見守り団体「すまいる」を主体とした、理解促進と共生の具体策の検討	定年制度の延長により、社員のライフイベントとして親の介護、本人の高齢化や認知症が新たな課題となり、地域企業1か所の依頼を受け、計2回の出前講座を実施。「年をとっても働き続けるには」というテーマで情報交換会等を開催。	すまいるの加入団体の役割意識向上と顔の見える関係を強化。  出前講座、企業による開催事業への協力3件以上	出前講座、企業による開催事業（認知症月間の取組）等への協力4件  すまいるの取組を契機として、企業自身が高齢者（認知症）への具体的な配慮について発信できる	
3	認知症サポーター養成講座受講者が受講後に学びや知識を生かして地域活動に参加・活躍できる場が少ない	認知症サポーター等の活躍の場づくり	地域での活動意思のある認知症サポーターに対しステップアップ講座を実施（民生委員59人）。認知症サポーターの講座参加やカフェ等での活動が増える半面、具体的な活動へ結びついていない現状もある。	活動意思のあるサポーターを把握し、関係作り・活動へ繋ぐ支援を強化。活動を促す新たな活躍の場の創設を検討。	カフェ等新たな活躍の場の立ち上げへ向けた情報や学びの機会の提供		
4	認知症により、活動への参加意欲が低下しやすい 閉じこもりやすい 受け入れられる活動の場が限られる	社会参加と活動の場づくり、参加の促進支援	認知症本人と家族のニーズを把握しサポーター・地域とを繋ぐ取組みを実施。好きな縫物をしたい希望から11月~ロバ隊長マスコット作りの展開、外出したい想いから地域サロンへ参加の働きかけを展開中。	認知症サポーターや地域活動者により認知症本人が発見され、本人と家族のニーズから活動に繋がる。	閉じこもらずに馴染みの場所で馴染みの仲間とやりたいことを続けられている		
5	本人の思いを発信できる場所が少ない、本人が安心して過ごせる・ともに活動できる人との出会いやその活動の場所が少ない	認知症本人の声を活かした居場所・就労支援	認知症サポーター養成講座等で、認知症本人が自分の想いを発信し（動画配信等）、閉じこもらず外と繋がりを活動する大切さを伝えてきた。今後はニーズや想いを協力者（すまいるや等）や関係者と繋ぎ、連携を強化していく	認知症本人が参加する、本人ミーティングの試行を行い、本人の意見や視点を踏まえた施策の企画・立案	認知症本人が参加できる、参加したいと思える選択肢を提示し、本人の思いを発信できる場所、本人が安心して過ごせる・ともに活動できる人との出会いがある場所をつくる	働き続けられる環境づくりに向けて、すまいると連携する	

○計画に定める成果指標のうち本事業に関連のあるもの

NO	内容	回数	備考
1	認知症サポーター養成講座	3回	南小学校20人、医薬品営業所7人、区24人
2	企業との共同企画・出前講座	2回	民間製造業2回
3	SNS等を活用した広報	5回	認知症月間の取組（ライトアップ・認知症フォーラム・ペットボトル関連含）
4	認知症サポーター等と共同した企画運営	1回	ロバ隊長

○その他取組の実績

NO	内容	回数	備考
1	認知症の普及啓発	1回	認知症フォーラム「オレンジ・ランプ」上映会地域住民284人（R5度認知症フォーラム249人）
2		5月~10月	認知症月間の取組（ペットボトル作成~ライトアップ等）ペットボトル作成参加者401人 イベント内での周知
3	認知症サポーターステップ講座養成講座	1回	民生委員59人
4	認知症サポーター数・認知症キャラバン・メイト	-	認知症サポーター登録数4,049人（総数）、キャラバン・メイト86人（R7.2.20時点）
5	認知症キャラバン・メイト連絡会・通信発行	6回	キャラバン・メイト通信2回、連絡会兼資料検討会4回
6	認知症カフェ	20回	20回 413人 R7.2.20時点（R5年度 23回 467人）



広報みのわの実 認知症サポーターについての広報



認知症サポーター講座独自資料作成



受診の拒否など、対応の難しい認知症患者に対応する初期集中支援チームの運用